

トム・ソーヤー奨励賞

- 団体名 尾鷲市立矢浜小学校（三重県）
- 企画名 「僕らのあそび場づくり～川育・雨育・おわせ行く～」
- 目的 三重県尾鷲市には、全国に誇る素晴らしい自然環境があります。

三方が山、一方が海という立地にたたずむ尾鷲市では、年間4,000mmを超える降水量が様々な雨の恵みをもたらします。

この自然の恵みいっぱいの尾鷲で育つ子どもたちも、今では自然のど真ん中で体験する機会はなくなってしまいました。

自然の中での遊びで培われるあらゆる体験は、今こそ、子どもたちの成長に必要なものであることは間違いありません。

こうした自然立地の強みを生かした、「ふるさと尾鷲」を大好きで、「生きる力」を身につけられる、子どもたちの成長プログラムを構築する目的とし活動を行いました。

- 企画内容 尾鷲市内の矢ノ川上流部～中流～下流の各ポイントの周辺調査
(水の流れ・岩や石・流域の森林・生き物等の調査)
- 実施期間 2020年6月23日～10月13日
- 実施場所 尾鷲市内の矢ノ川上流部～中流～下流（黒の浜）
- 企画の特徴

尾鷲市が全国に誇ることのできる自然を舞台としたあそび場づくりを通して、子どもたちの身体と心の成長プログラムを実施しました。

すべてのプログラムに、三重大学生物資源学部の教授や学生が講師、サポートとしてかわかることで、本格的な調査を実施することができると同時に、児童と学生による学府間交流を図り、また、登山ガイドや地元で自然フィールド整備を行っている団体、尾鷲市役所、尾鷲市教育委員会、三重県など、多様な組織・団体がサポートスタッフとして参画し、子どもたちの成長を支えました。

子どもたちの主体性に重点をおいた指導プログラムとして、尾鷲の自然の魅力のひとつである、尾鷲市の水源である「矢ノ川」の上流から下流までを探検しながら、川、山、雨などを調べるなかで、普段なかなか体験できなくなってしまった「自然あそび」をする機会をつくってやることの大切さや、有用性を感じることができました。



上流：ロープワークで移動



上流：デンガラ滝



中流：流されてみよう



中流：大岩から飛び込み



下流：汽水域を探そう



下流：カヤックで探索